

## 東日本大震災への支援拡大を

(被災地支援は適宜推進)

## 町民目線の議場改修を

(改修は困難。議会開催場所の工夫で改善を)

によると「農作業受委託対策」「農地の流動化対策」「担い手対策」の3点について取り組みべきとなっている。今は農業振興公社立ち上げの素案作成中であり、指摘のあった担い手対策は農業振興公社の重要な業務となることと認識している。具体的な対策、事業内容は真摯に検討するが、現状は公社立ち上げを優先し、全力を傾注する。



青田良一 議員

東日本大震災への支援継続を

**質問** 東日本大震災の被災地に対し、更なる支援方を検討し、災害被災民が団結の力で築いた町としての矜持を示しては。

**町長** 3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は東日本、特に東北3県には未曾有の大災害をもたらし、未だ多くの住民が避難所で不便な生活を余儀なくされている。この災害に多くの町民各位より多額の義援金が寄せられたことに感謝するとともに、被災地の一日でも早い復旧復興を願っている。

町としては、義援金、備蓄食料や毛布の提供をはじめ、いち早く被災地市町村に対する人的支援のための職員派遣を表明した。(派遣にはいたらず)さらに、被災者の受け入れ対応として、公営住宅、町有住宅をあわせ5戸の確保、建設協会加盟事業所での雇用10人を町や北海道のホームペーで周知したが、現状では申し入れがない。町として今後も、多くの方のご理解ご協力をいただき、適宜被災地への支援を進めていく。

### 学校づくり推進事業とは

**質問** 教育行政執行方針で『生きる力を育む学校づくり推進事業』を示されたが具体的な内容と期待出来る成果を伺う。

**教育長** 生きる力を育む学校づくり、学力の向上、特色ある学校づくり、学校経営の充実の4点を推進するための経費を独自に助成するものとし、具体的には、学校長にその裁量権を付与し新規的な教育活動を期待するものである。学校長を中心に優れた企画に対する即効性の支援ができ、学力向上や特色ある学校づくりが期待ができる。



後木幸里 議員

### 議場の改修を

**質問** 議員数が減少したこともあり、現状の議場や傍聴席も改修し、議員と同じ目線で傍聴できることを考えてはいかがか。

**町長** 町民主体のまちづくりの思いを考える時、現状より多くの町民に議会を傍聴していただくことは有意義なことである。傍聴席も改修し、町民も議員と同じ目線で議論を見聞きすることになれば「議会」への関心が深まるような感じもある。しかし、改修には建物の強度が不可欠であり、傍聴者の目線を意識した改修には多額の費用も要することから現状の議場を改修することは考えていない。多くの町民の傍聴や町民目線の議会運営を考える時、現議場にこだわることなく、これが可能な場所においての議会開催も考えられる。開かれた議会への取り組みは重要であり、議会や議員各位には、新しい議会運営のあり方や議会の活性化に向けた取り組みを期待したい。